

▶ ショートサーキット対策 ▶

① エアコンの吹き出し口のすぐ下にタンスや本棚などの家具を置くのは避ける

② エアコンの真下にある家具を動かさない場合は、羽根を上向きにする

エアコン設定の羽根の向きを自動ではなく常に上向きにすると、風が障害物に当たらずエアコンの自動感知誤作動を防ぐことができます。

③ 室外機にも気配りを

ショートサーキット現象は室外機でも起こります。暑い風が室外機に戻るとエアコンの熱交換が出来なくなって冷えなくなるのです。室外機の吹き出し口の周りにプランターなど障害物は置かないようにしましょう。塀や壁が近い場合、ルーバーを取り付けて風向きを変える方法もあります。

▶ その他の省エネ対策 ▶

※ 自動モード

エアコンには「自動」ボタンの付いている機種があります。自動ボタンは夏28度、冬20度に設定されており、冷暖房と除湿を自動で切り替えて節電する便利な機能です。

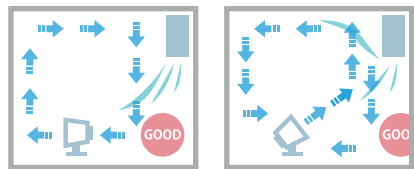
私は、自動ボタンを使ったことがなかったのですが、今年の夏からは常に自動にしています。ちょうどいいようにエアコンが働いてくれるように感じます。

※ 風量調節

冷房を付けていても暑いと感じるときは、温度を下げるより風量を強くして体感温度を下げる方が、消費電力が小さく節電につながります。

※ サーキュレーターを併用する

サーキュレーターは扇風機と異なり、強風で空気を循環させる装置です。冷房と暖房で効率の良い置き場所や向きが変わるのがポイントです。



冷房時のサーキュレーターの置き方例

※ 帰宅後は、換気して熱を逃がす

外出後、部屋が外よりも暑い時にはまず換気。熱気を逃がすと、早く部屋を冷やせます。2カ所の窓(対角線上にあると尚良い)を開けると換気効率がUPします。

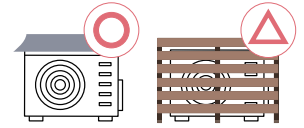
※ フィルターを掃除する

みなさんはどれくらいの頻度でフィルター掃除をされていますか？使用頻度にもよりますが2週間に1度の掃除が理想だそうです。ホコリがたまると電気代で最大25%のムダづかいになることもあります。

我が家の掃除は2カ月に一度ですが、もう少しマメにしようと思いました。

※ 室外機の日よけ

日陰に設置するのが最良ですが、そうでない場合は、よしずや屋根のようなもので日陰を作ると節電につながります。ダイキンさんによると、面格子のようなカバーは、通気口を覆うのであまりよくないと仰っていました。



他にも方法がありますが、我が家でできる範囲、ストレスにならない程度に取り入れていこうと思います。

記録的に暑い夏を元気に乗り切りたいですね。



「カタログの無いものづくり展」

6月下旬に大阪中津で開催されていた展示会に行ってきました。

きっかけは、当店で棒棚受けが人気の「TOOLBOX(ツールボックス)」さんが出展されていたからです。会場には建材や素材など、リフォームにも使える魅力的な素材がたくさんありました。



プラモデルのようにDIYで組み立てるプラモ家具



北欧インテリアでよく見かけるホワイトパーティ合板



大手壁紙メーカーでは見たことのないおしゃれな壁紙



ピックアップレールで使われているワイヤーとグリッパ



TOOLBOXさんは、今年10月に2店舗目となるショールームを大阪中津にオープンされる予定です。今まではカタログやウェブサイトで見られなかった商品を、関西でも手に取って見ることができるようになります。

お楽しみに！